

# カトリック河原町教会だより

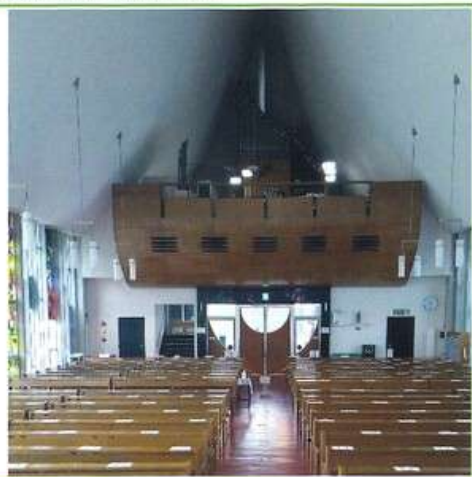
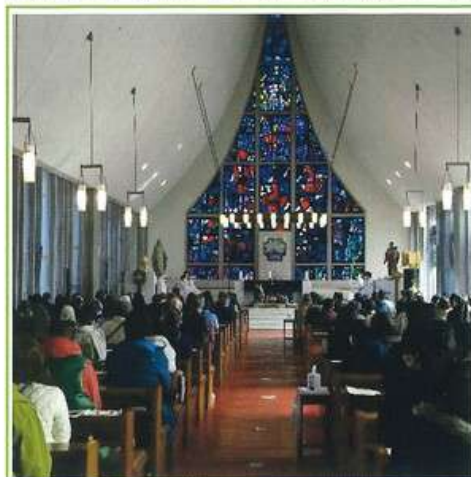
## 2023年1・2月

教皇フランシスコ 2022年12月7日一般謁見演説 識別についての連続講話(抜粋)

### 11. 良い決断の確証

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、おはようございます。

識別の過程の中で、決断を下した直後の段階にも注意を払い続けることが重要です。決断を下す必要があるとき、識別をします。その決断の是非や様々な感情が湧き上がり、祈る。そして、この過程は終わり、最終的な決断を下します。しかしその後、わたしたちは注意深く検討しなければならない段階に入ります。というのも、人生の中で、いくつかの決断は良いものではなく、その誤りを証明するしるしがある一方で、よい決断にはその確証を与えるしるしがあるからです。最初の側面は、その決断が、主の愛と自分に対する寛容への反応のしるしとして見えるかどうかです。恐れや強迫観念や衝動性からではなく、受けた善に対する感謝から生まれ出るものかどうかで、それは主との関係を自由に生きるようにとこころを動かすものです。また別の重要な要素は、人生の中で、自分の居場所の感覚を持つこと——「わたしは自分の場所にいる」という平穏なこころ——そして、より大きな計画の一部なのだという感覚、そこに貢献したいと望むことです。さらに別の確認のための良いしるしは、例えば、決定したことから依然として自由であること。これは、主がわたしたちの大切にしているものをわたしたちから奪おうとされているからではなく、執着を捨て、自由にその大切にしているものを生きるためです。自由のうちのみ、わたしたちは愛することができます。またそのことは聖パウロの驚くべき経験から、次のように語られています。「貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です」(フィリピ 4・12—13)。これらのことを理解することは、良い決断を下すために重要です。健康、将来、愛する人、自分の計画などについて、コントロールできないことや予測できないことについて、わたしたちを安心させてくれます。いつもこのようにして決断を下すよう試みて、祈りのうちに、こころで起きていることを感じつつ、前へゆっくりと歩みを進めましょう。勇気を出しましょう！





## キリストの真実によって生きる！

～驚くべき翻訳変更、ガラテヤ書 2 章 20 節～

洛東ブロック担当司祭 菅原友明

1987年に刊行された「新共同訳」の聖書は30年以上にわたって広く親しまれてきましたが、2018年、最新の研究成果を取り入れ、しかも格調高く美しい日本語訳をめざすという主旨で、「31年ぶり、0からの翻訳」を謳った「聖書協会共同訳」という新しい邦訳聖書が誕生しました。この聖書において、神学的に最も強烈なインパクトがあったと言えるのが、ガラテヤ書2章20節の翻訳の変更でしょう。この箇所は、従来の「新共同訳」では次のように訳されていました。

**生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。**

これが、「聖書協会共同訳」では以下のように変更されたのです。

**生きているのは、もはや私ではありません。キリストが私の内に生きておられるのです。私が今、肉において生きているのは、私を愛し、私のためにご自身を献げられた神の子の真実によるものです。**

なんだ、ゼロからの翻訳だなんて言ってもぜんぜん変わってないじゃないか、「わたし」が漢字になっただけじゃないか…、などと思っていると、最後の下線部分の変更に瞠目させられます。これは文字通り天地がひっくり返ったほどの変化です。従来の訳では、人が永遠の命を生きる（＝救われる）ためには、「神の子に対する信仰」という人間側の姿勢こそ大切だということですが、この変更により、永遠の命（救い）は「神の子の真実」によって一方的に神側からもたらされるのだという話になるからです。もはや人間側の信仰とか努力とか姿勢とかを超越した、贖いによる救いの恵みが語られていることになるのです。そしてまさにキリスト教の核心は、人間の功績によってではなくて、十字架にご自身を献げられたキリストの贖いによって、私達が救われるということにほかならないはずです。

「新共同訳」で「信仰」と訳されていたピステイスというギリシア語は、英語の faith と同じで「信頼・忠実」というのが基本的な意味ですが、これが今回の「聖書協会共同訳」では「真実」と訳されています。でも問題の本質は単語の訳の変化ではなく文法解釈の変化です。「神の子に対するピステイス」が「神の子のピステイス」に変わったのが驚きなのです。



ギリシア語文法の説明は割愛しますが、ここは「神の子の」と訳すほうが文法的にはるかに自然です。それを今まであえて「神の子に対する」というやや苦しい訳をしてきたのはなぜか、という問題も孕まれているわけです。もちろん「神の子に対する」と訳せないことはありません。実際、「聖書協会共同訳」ではこの箇所に脚注をつけ、「神の子に対する信仰」という従来の訳も可能であることを明示しています。しかし私は、本文のほうに、晴れて「神の子の

**真実による**という訳が採用された意味こそ画期的だと思うのです。まさしく私たちはキリストの真実によってだけ生きる（救われる）のですから！



### 主の降誕(クリスマス)ミサ

12月24日・25日に主の降誕ミサ(夜半ミサ)が大塚司教様・瀧野神父様・菅原神父様の司式により執り行われ、各ミサに多くの参列者が詰めかけ、聖堂内が喜びに包まれました。



### 2023 年度教会役員紹介

北村 進	留任
伊藤 元昭	留任
竹上 由美	留任
ハビエル・ビダル	新任
神之田 篤子	新任



### 河原町教会総会



河原町教会総会  
2023年1月22日(19時)ミサ後  
於: グレイモンホール

司会: 北村 進

1. 始めの祈り	菅原 神父
2. 司祭挨拶	伊藤 元昭
3. 2022年度行事活動報告	越知謙之助
4. 2022年度会計報告	工藤由紀子
5. 2022年度会計監査報告	竹上 由美
6. 2023年度行事予定	越知謙之助
7. 2023年度予算	
8. 会館工事説明	
9. 質疑応答	
10. 終わりの祈り	
11. 祝 福	菅原 神父



### 河原町教会あれこれ



12/3 司教座聖堂献堂記念ミサ



工事クレーンと聖堂



土曜学校 クリスマス聖劇



2023年2月～4月までの主な予定(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
2	5	日	[年間第5主日] 日本26聖人殉教者
	11	土	世界病者の日
	12	日	[年間第6主日] 病者の日ミサ 10:30
	19	日	[年間第7主日]
	22	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) ミサ 7:00・18:30 四旬節愛の献金(四旬節中)
3	26	日	[四旬節第1主日] 洗礼志願式 10:30 ミサ中
	5	日	[四旬節第2主日]
	11	土	四旬節黙想会 10:00
	12	日	[四旬節第3主日]
	19	日	[四旬節第4主日]
	20	月	聖ヨゼフ
4	25	土	神のお告げ
	26	日	[四旬節第5主日]
	2	日	受難の主日(枝の主日)(聖週間)
	5	水	聖香油ミサ
	6	木	聖木曜日(主の晩さん) 19:00
	7	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎) 19:00 聖地の献金
	8	土	聖土曜日/復活徹夜祭ミサ 19:00
	9	日	復活の主日ミサ 7:00・10:30・14:00(英語)
	16	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日) 子ども初聖体 10:30 ミサ中 ミサ後お祝い
	23	日	[復活節第3主日]
30	日	[復活節第4主日] 世界召命祈願の日	

## お知らせ(敬称略)

## ◆堅信 おめでとうございます

2022.11.13 ヨゼフィーナ 栗原 萌生 11.13 ヨゼフ 小澤 寛太郎

2022.11.13 ヒルデガルト・アナスタシア 佐藤 史織 11.13 ルカ 佐々木 雄介

2022.11.13 フィデス 小浜 創

## ◆洗礼 おめでとうございます

2022.12.4 ヨセフ 松原 寛次 12.4 マリア 松原 美喜子

## ◆転入 よこそ河原町教会へ

2022.10.4 ヨゼフ 辻本 征次 2022.12.9 クリストフォロ 雁津 孝則

2022.12.13 クララ 矢野 萌子

## ◆転出 どうぞお元気で

2022.11.30 ルトガルドニス 松川 絃子 2022.12.21 グミアン 平野 啓太

2022.12.21 デリア 鄭 慧妍 2022.12.21 デラ 平野 可真

## ◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2022.12.11 パウロ 竹内 義雄 2022.12.12 パウロ 渡邊 常彦

2022.12.15 ベトロ 國本 静二 2022.12.21 クララ 宮尾 喜久子

2022.12.22 マリア・マグダレナ 北川 幸子 2022.12.31 セシリア 北島 京子

## 主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、  
12:00(英語・第2第4のみ)

## 週日ミサの時間

水曜日 9:30

最新の情報はウェブサイトでご確認下さい。

## 講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

## 洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

## 一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

新規の方は4月からお願いします。

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「キリスト教とは何か」

## 養成講座(信徒・一般向け)

## 読書会

「イエス・キリストの言葉」

水曜日 10:00(瀧野神父)

## 要理通読会

「カトリック教会のカテキズム要約」の通読

木曜日 11:30(菅原神父)

## 聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

## 聖書を学ぶ会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

## みんなの集い

土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む  
第1土曜日 19:20(菅原神父)「これから洗礼を受けられる方向け」  
は事務室か  
rakuto.nyumon.class@gmail.com まで  
事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2023.1・2 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachiKyoto>